

陸域の生物多様性は水域からの遠近でどう変化するのか？ ～水辺域に棲む地表徘徊性節足動物相の相違～

【調査期間】 4月下旬～5月中旬

【内容】: 水域からの距離(河川もしくは地下水面からの距離)が異なる河川水辺域では, 地表面の土壌湿潤度, 増水時の冠水頻度が異なってきます。本調査では, 実験河川に造成した高さが違う3つの水辺域において, 地表徘徊性節足動物をバイトラップによって捕獲・比較します。



写真 1 バイトラップの設置状況(トラップ中に餌:バイト液を入れます)



写真 2 氾濫原ゾーンの状況(右岸と左岸では地盤高が異なるため, 冠水頻度と土壌湿潤度が異なります)